

令和7年度（2025年度） 大分大学一般選抜試験問題

出題の意図

小論文

（経済学部）

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

経済学部アドミッション・ポリシーでは、「小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。」と定めており、これに基づき移民の受け入れに関する問題を題材として出題した。

3点の資料から、社会全体の最大多数の最大幸福を実現する政策の策定において、低所得領域ほど厚生関数の傾きが大きい、つまり物質的充足が経済厚生（幸福水準）に与える影響が大きいので、低所得グループの所得向上がグローバルな社会厚生に与える影響が最も大きいことを把握する（資料1と資料2）こと、各社会グループについて実現する厚生水準のバランスを考えると社会グループ間で摩擦が生じることに考えが到達すること（資料1と資料3）を求めており、理解力、論理的思考力、表現力、高校での学習の成果や社会課題への関心、今後の勉学への意欲を総合的に判定するものである。